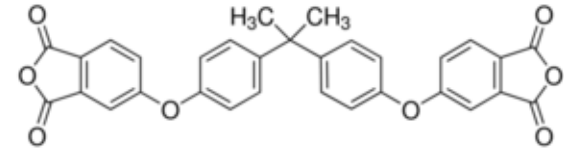
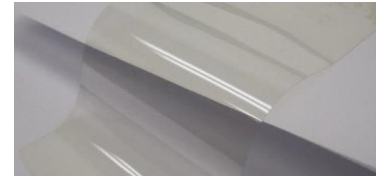


特殊酸二無水物 BPADA (新規開発高純度グレード: SD1100P)

名称 :BPADA (2,2-bis [4-(3,4-dicarboxyphenoxy) phenyl] propane dianhydride)
 CAS番号 : 38103-06-9
 分子量 : 520 g/mol



既存のBISDA-1000（標準品）に加え、新規高純度グレードSD1100Pを新しく上市しました。BPADAは市場で入手可能な他の酸二無水物と比べ、フレキシブル銅張積層板、カバーレイや接着剤に使用されるフィルムやワニスの製造において、誘電率および誘電正接の低減、吸水率の低減、金属との接着性の改善といった各種性能の向上に貢献します。



<BPADAグレード特性>

グレード名	BISDA-1000 (標準品)	SD1100P-1000 (高純度品)
BPADA純度 (%)	>97.5	>99.4
イミド無水物 (%)	<3.0	<0.1
カルボン酸 (%)	<3.0	<0.5
外観	淡黄色フレーク	白色パウダー
溶融温度 (°C)	180-185	188-191
総金属含有量 (ppm)	-	<20

<ポリイミドフィルムとしての特性比較>

酸二無水物-ジアミン	SD1100P-ODA	ODPA-ODA	PMDA-ODA
ガラス転移温度 (DSC)	220-224 °C	260 - 265 °C	390 - 410 °C
熱分解温度 (TGA, 5%)	520 °C	550 °C	580 °C
誘電率, 10 Ghz	3.1	3.3	3.4
誘電正接, 10 Ghz	0.005	0.009	0.019
吸水率, wt%	0.7 - 1%	1.9 %	2.6 %
接着強度 (対銅箔)	1.45 N/mm	1.34 N/mm	1.29 N/mm

ジアミンをODA(4,4'-oxydianiline)として各酸二無水物とのポリイミドフィルムを作成、そのフィルムの各種特性の比較を行った。